

2021年03月23日

新型コロナウイルスの業績への影響について

新型コロナウイルスの感染動向は、見通しがつけにくい状況が継続しております。2021年度の弊社業績への影響に関しましては、2020年第4四半期後半以降、受注環境が次第に好転する兆しが見えており、感染状況に大きな変化が無い場合、弊社発表済み業績予想は継続して維持することになると思われます。

ワクチン接種による世界経済の回復・設備投資マインドの好転がさらに力強いものになれば、それだけ弊社売上高・受注へのプラスが出る可能性があります。そのため、弊社はいくつかの新型装置の開発に目途をつけ、マーケティングを開始しておりますので、具体的な成果となるよう取り組んでまいります。

なお、弊社では、本社および全海外拠点を通じ、徹底した新型コロナウイルス対策をとっており、現在まで弊社グループで感染者はおりません。

以上